

水産物の市況について(令和6年5月及び令和6年6月)

—東京都中央卸売市場における令和6年5月(令和6年4月21日～令和6年5月20日集計)の市況と、
令和6年6月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和6年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から減少で推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比でも横ばいで推移しました。

II 令和6年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、入梅いわしの旬を迎え、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮品の東京への入荷量はやや増加するものの、全国的に水揚量が少ないことから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、需要期であることから卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	5月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
6年	26	1,437	30	1,403	25	1,490
前年	27	1,450	29	1,391	26	1,455

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	385	103	92	113
さけ類(平均)	1,244	106	100	120
(ぎんざけ塩蔵品)	1,297	109	109	127
(あきさけ塩蔵品)	916	95	79	132
(べにざけ塩蔵品)	1,493	107	99	108
(さけ類冷凍品)	1,221	105	98	120
さば(生鮮品)	480	92	89	122
するめいか(平均)	1,652	112	140	176
(生鮮品)	1,589	114	131	172
(冷凍品)	1,780	100	159	180
あじ(生鮮品)	618	115	89	110
まぐろ(冷凍品)	1,698	100	93	107
(めばち冷凍品)	1,147	99	94	101
(きはだ冷凍品)	1,334	91	102	127
(くろまぐろ冷凍品)	3,386	106	91	103
(みなみまぐろ冷凍品)	2,009	102	79	96
かつお(生鮮品)	821	96	107	144

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:5月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和元年～令和5年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、持原、山崎

直通 03-3591-5613